

患者ID:()

A-1. スクリーニング項目		□入院前よりADLが低下している		□医療処置が必要である		□入退院を繰り返している			
入院病日	入院前	入院3日以内	入院7日以内	退院1週間前まで	退院4日前まで	退院前1日	退院日～1週間	終末期	
退院から	準備期	方向性統一期		在宅療養体制調整期		在宅移行期		看取り期	
達成目標	患者・家族	退院するという意思決定ができる		在宅療養を送る上で必要な対処方法や技術を理解できる 医療機器について理解している		療養生活上必要な技術が実施できる 起こりえる症状・対処法を理解している			
	ケア提供者	患者・家族に退院への意思を確認できている 在宅療養に向けてケアの		在宅療法に必要な体制が整っている		在宅生活を支える体制が整っている		看取り時の意思確認ができている	
業務	ケアマネ	連携	□情報提供書の記入 □在宅医に連絡 □MSWに情報提供 ★入院時情報連携加算		□在宅医と情報交換 □MSWと情報交換	□退院前カンファレンス ★退院・退所加算	□ケアプランの作成	□訪問看護師とサービスの調整	
	主治医	連携		□院内カンファレンス	□在宅医との連絡調整(/)	□退院前カンファレンス □退院日設定(/)			
		IC		□今後の方針説明 (退院を視野に)(/)		□在宅医療の説明(/) □起こりえる病態・対処法の説明(/)			
	在宅医	連携	□主治医と情報交換 ★療養情報提供加算		□主治医と情報交換	□退院前カンファレンス ★退院時共同指導料		□訪問看護師との連携 □病状の説明 □看取り時の説明	
	医療ソーシャルワーカー・退院支援看護師	連携		A-2. スクリーニング □看護師間カンファレンス (/)	C. □院内カンファレンス(/) □退院前訪問 ★退院前訪問指導料	E. □訪問看護依頼(/) □情報提供書・サマリー送付(/) □ケアマネジャー連絡(/) ★介護支援等連携指導料 □退院前カンファレンス日調整(/)	F. □退院前カンファレンス(/) □退院時処方薬(日数確認)(/) □医療物品調整(/) □搬送方法(/) □退院日の連絡(/)	I. □最終情報伝達(/) □処方薬の確認(/) □医療物品の確認(/) □搬送方法の確認(/)	□退院後訪問 ★退院後訪問指導料
		アセスメント		B. □意思、不安の確認(/) □介護保険申請の有無(/) □介護状況(人)(/) □自宅環境(/)	□ADL・障害の評価(/) □身体症状の評価(/) □医療処置の継続(/) □処方薬の継続(/) □介護サービスの必要性の検討(/)	□栄養サポートチーム ★栄養サポートチーム加算 ★歯科医師連携加算	★退院時共同指導料 ★多機関共同指導料 □リハビリテーションの検討 ★退院時リハビリテーション指導料 □薬剤師に連絡 ★退院時薬剤情報管理指導料		
		情報提供と理解の確認		□今後の方針説明を補足・	□今後の方針説明(退院を視野に)を補足・理解の確認(/)		G. □在宅医療体制の説明内容・理解の確認 □起こりえる病態・対処法の説明内容・理解の確認(/) □退院日の説明・理解の確認		
		教育		□介護保険のパンフレット(/)	D. □医療機器使用の教育(/) □介護保険・その他制度(/)		H. □処方薬の教育(/)		
		連携	★訪問看護情報提供療養費			□在宅医に連絡(/) □ケアマネジャー連絡(/)	J. □退院前カンファレンス □在宅医へ報告(/) □退院日の確認(/)	□最終情報確認(/) □処方薬・医療物品・搬送方法の確認(/)	□在宅医へ報告(/) □サマリーを病棟へ送付(/) □ケアマネにサービスの調整依頼(/)
	訪問看護師	アセスメント			□介護保険申請の有無(/) □介護状況(人)(/) □自宅環境(/) □ADL・障害の評価(/) □身体症状の評価(/) □医療処置の継続(/) □処方薬の継続(/)	K. □意思、不安の確認(/) □今後の治療方針の理解(/) □介護サービスの具体的方法(/) □医療機器使用の理解確認(/) (IVH・吸引・胃ろう・バルンカテーテル) □介護保険・その他制度について(/)		□訪問 □環境調整	
		情報提供と理解の確認				L. □在宅医療体制の説明の補足・理解の確認(/) □起こりえる病態・対処法の説明の補足・		□在宅医療の説明・理解の確認 □病状の説明・理解(/) □起こりえる病態・対処法の説明・理解の確認(/) □看取り時の説明・理解(/)	
		教育				★退院時共同指導加算		M. □援助者(介護サービス)の具体的援助方法(/) □医療機器使用の理解確認	
	薬剤師		★薬剤管理指導料			□退院前カンファレンス ★退院時共同指導の算定	□多剤投与時には減少検討 □服薬方法、保管、管理の指導	□在宅医と連携 ★在宅患者訪問薬剤管理指導	
	医歯師科				□栄養サポートチームとして診療 ★在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料			□在宅患者訪問口腔リハビリテーション ★在宅歯科栄養サポートチーム等連携指導料	